

# 令和7年度 美術科 3学年 年間指導計画・評価計画

## 1、教科目標

「表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。」

## 2、評価の観点及びその趣旨

### 【知識・技能】

対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。表現方法を創意工夫し、創造的に表している。

### 【思考・判断・表現】

造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。

### 【主体的に学習に取り組む態度】

美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。

## 3、第三学年の目標

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようとする。
- (2) 自然の造形や美術作品など造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようとする。
- (3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

## 4、指導計画・評価計画表

月	指導計画	観点・評価規準			評価方法
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4					
5					
6					
7					
9	空想画（17時間）	・材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して表すことができる。 ・制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表すことができる。	・感性や想像力を働かせて対象などの価値などを感じ取り主題を発想し、スケッチなどを基に構想できる。 ・夢や想像などから心豊かな表現の構想ができる。	・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。	・授業の取り組み姿勢 ・作品 ・鑑賞シート ・定期テスト

10 11	額縁制作（5時間）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して表している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作した空想画を飾る額縁としてふさわしいデザインを考えながら、感性や色彩感覚を働かせ、創造的な構成を工夫して構想し、表現しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主題を基によりよい表現を目指して粘り強く課題に取り組み、計画的に制作しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の取り組み姿勢</li> <li>・作品</li> <li>・定期テスト</li> </ul>
6	西洋の美術（1時間） 「西洋美術史」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西洋の美術の文化的背景や画家について理解を深めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色彩や造形の美しさなど、感じとったことを基に、美術や美術文化に対する見方を広げたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諸外国の美術文化に関心をもち、よさや美しさを感じ取ろうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の取り組み姿勢</li> <li>・振り返り鑑賞シート</li> <li>・定期テスト</li> </ul>
11 12	自己を見つめて（5時間）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形や色彩、材料などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。</li> <li>・伝達するための多様な表現方法を理解し、自分の伝えたい内容に合う方法を自ら選択することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主題を基に想像力を働かせ、材料の特性を生かし、心豊かな表現の構想を練り自分なりの表現方法を工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主題を基に材料や用具の特性を生かし、表したいイメージを持ちながら、自らの表現意図に合う方法を工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の取り組み姿勢</li> <li>・作品</li> <li>・振り返り鑑賞シート</li> <li>・定期テスト</li> </ul>
12	デザイン鑑賞（1時間）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本及び諸外国の表現形式や構成、技法などのよさ、新たな表現方法への理解を深めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色彩や造形の美しさなど、感じとったことを基に、美術や美術文化に対する見方を広げたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々なアートプロジェクトや身近なデザインについて関心をもち、よさや美しさを感じ取ろうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の取り組み姿勢</li> <li>・定期テスト</li> <li>・振り返り鑑賞シート</li> </ul>
1 2 3	堆朱工芸（6時間）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料の特性を考え、表現に生かすことができる。制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・堆朱の特性や材質の風合いを生かし、表現の構想を練り自分なりの表現方法を工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主題を基に材料や用具の特性を生かし、自らの表現意図に合う方法を工夫している。堆朱工芸の良さや造形の美しさを味わうことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の取り組み姿勢</li> <li>・作品</li> </ul>